

2025 年度事業計画

1 防犯事業

(1) 防犯カメラの整備

地域の防犯力向上のため、2017 年度から栄 5 丁目を中心に防犯カメラの設置及び更新整備を行い、栄東地域内で 42 か所 47 台の防犯カメラを運用している。

2023 年度から栄 5 丁目の街路灯の整備が本格的に開始されており、その街路灯に設置されている防犯カメラは、設置後 7 年以上経過していることから、街路灯の整備に併せ、閲覧回数等から必要な設置位置及び数量を精査のうえ、ドーム型で高所作業がなく現地で画像閲覧できる仕様の防犯カメラへの更新を計画的に実施する。

(2) 防犯カメラの維持管理

防犯カメラの保守や電気代、賠償責任保険料等の経費を支出する。

2 防災事業

(1) 防災訓練の実施

住民と事業者が共に防災について学び、災害対応能力を高めるため、栄東まちづくりの会、栄東発展会、一般社団法人栄東女子大小路ビル協会と共催し、池田公園において防災訓練を行う。各地域団体から構成される実行委員会を設置し、栄東地域の特性や参加者のニーズを踏まえた訓練となるよう、内容等の企画及び運営を行う。栄東まちづくり協議会（以下「協議会」という。）は実行委員会において決定された内容に従い、事業の実施に必要な経費を支出する。

(2) 防災・防犯講習会の実施

住民と事業者が共に防災と防犯について学び、地域の防災・防犯力を向上させるため、栄東まちづくりの会、栄東発展会、一般社団法人栄東女子大小路ビル協会と共催し、中区役所ホールにおいて防災・防犯講習会を行う。各地域団体から構成される実行委員会を設置し、栄東地域の特性や参加者のニーズを踏まえた講習会となるよう、内容等の企画及び運営を行う。協議会は実行委員会において決定された内容に従い、事業の実施に必要な経費を支出する。

3 環境美化事業

(1) 落書き消し活動の実施

地域の環境美化のため、栄東まちづくりの会と共催し、栄東地域内で落書き消し、いたずらシール剥がし活動を行う。協議会は栄東まちづくりの会において決定された内容に従い、ペンキ、有機溶剤、道具等必要な資材の購入、参加者用飲料等の経費を支出する。

(2) まち美活動の実施

地域の環境美化のため、栄東発展会と共催し、名古屋市が提唱する「町を美しくする運動」の趣旨を踏まえ、快適な生活環境を作り出すため、栄東地域内で地域住民や事業者に対する清掃活動の普及啓発活動を行う。栄東発展会から構成される実行委員会を設置し、内容等の企画及び運営を行う。協議会は実行委員会において決定された内容に従い、広報資料の作成、参加者配布用景品の購入、参加者用飲料等の経費を支出する。

4 街路灯整備事業

(1) 街路灯の整備

夜間も明るく、安心・安全で快適な環境づくりのため、2017 年度より栄東地域内の街路灯を栄 4 丁目北側から整備している。

2024 年度に街路灯の整備及び維持管理に係る長期の概算費用見込みを出した結果、街路灯全体の基数削減が必要であることが明らかとなり、以後整備する新設街路灯の基数を削

減するため、2022年度に作成した栄5丁目の建柱位置図を基に、通りに沿って建柱位置の全数を整備する従来の方法ではなく、建柱位置の一部をとばしながら整備し、その後の通りの実際の明るさを検証のうえ必要とされる位置の整備をする方針を決定した。

その方針に従い、2025年度も栄5丁目の整備を順次行う。また、街路灯全体の基数削減のため、栄4丁目に整備済みである新設街路灯についても、明るさ等を検証し過剰に整備されている地点があれば、それらの新設街路灯を2026年度以降に栄5丁目へ移設することができるよう、2025年度中に移設可能な街路灯の選定を行う。

(2) 街路灯の維持管理

街路灯の保守、電灯料や賠償責任保険料等の経費を支出する。

(3) 新設街路灯広告パネルのデザインリニューアル

栄東地域のにぎわいづくりと魅力発信につながるよう、栄4丁目に2021年度までに新設された栄4丁目モデル（広告枠あり）の街路灯131基262枚の広告パネルをリニューアルし、事業者名又は町内会名等からにぎわいづくりと魅力発信につながる新しいデザインに2024年度（空き枠又は町内会名が掲出されているパネル）及び2025年度中（事業者名等が掲出されているパネル）に変更することが2022年度に計画された。この計画に従い、2023年度は広告パネルのデザインを決定し、先行して空き枠及び要望があった事業者名掲出のパネルの一部を決定したデザインにリニューアルした。2024年度は残りの空き枠及び町内会名が掲出されているパネルの取り替えを行った。

2025年度は事業者名等が掲出されているパネルの取り替えを行う。

5 公園整備・活用事業

栄東地域のまちづくりの拠点である池田公園が、地域内外の来園者が快適に過ごせる魅力的な場所となるよう、中土木事務所と連携のうえ、トイレの維持管理や修景等を行う。また、2020年度のトイレ建て替え後に定期的に修繕が発生している床塗装等について、汚れにくく耐久性の高い建材や最適な改修方法の調査・検討を行う。

6 地域活性化事業

栄東地域の活性化、にぎわいづくりと魅力発信のため、各種事業を行う。名古屋の都心部は名駅地区がビジネス地区、商業地区としても発展し、栄及び伏見地区でも商業、住宅開発が進んでいる。また、久屋大通公園の再整備が進められている。一方で、栄東地域は都心部栄の立地を活かしきれておらず、にぎわいづくりが必要な状況である。また、日本語が母語ではない外国籍や外国にルーツがある住民が多い地域特性を踏まえ、各種事業の実施における広報資料や掲示物の多言語版作成等の多文化共生の取り組みを行うと共に、多文化共生イベントを主催する団体等の要請に応じて池田公園等で他団体等が実施する多文化共生イベント等への支援を行う。

(1) 夏まつりの実施

栄東まちづくりの会、栄東発展会、一般社団法人栄東女子大小路ビル協会と共催し、池田公園において夏まつりを行う。各地域団体から構成される実行委員会を設置し、地域のつながりの促進や地域活動の担い手の発掘・育成、イベントの参加者数・参加者層の拡大を意識し、内容等の企画及び運営を行う。協議会は実行委員会において決定された内容に従い、事業の実施に必要な経費を支出する。

(2) イルミネーションイベントの実施

栄東まちづくりの会、栄東発展会、一般社団法人栄東女子大小路ビル協会と共催し、池田公園においてイルミネーションイベントを行う。各地域団体から構成される実行委員会を設置し、地域のつながりの促進や地域活動の担い手の発掘・育成、イベントの参加者

数・参加者層の拡大を意識し、内容等の企画及び運営を行う。協議会は実行委員会において決定された内容に従い、事業の実施に必要な経費を支出する。

(3) イルミネーション装飾

池田公園の樹木にイルミネーション装飾を設置する。なお、池田公園の樹木の装飾は2022年度に枝に巻く装飾部材を一新しており、同じ装飾を復元する。加えて、歩道の街路灯用の装飾の一部を公園内の装飾に活用し、一部リニューアルを行う。

また、2017年度より池田公園につながる東栄通及び瓦通の歩道の街路灯にイルミネーション装飾を設置し、2021年度にデザインを一新のうえ設置していたが、2025年度は2024年度に引き続き設置をせず、保管を行う。

7 調査研究事業

栄東地域のまちづくりの方向性と今後の施策・事業の展開について各地域団体で共通認識を得るため、2024年度に実施した栄東地域の現状把握調査の結果について各地域団体において考察すると共に、栄東地域における今後のまちづくり事業への具体的な活用方法等を整理・検討する。特に、2026年度には池田公園夏まつりが55周年を迎え、また、池田公園イルミネーション装飾が25周年を迎えることから、地域の活性化やにぎわいづくり、魅力の向上・発信等の観点から重点的に検討する。

8 広報事業

栄東地域の魅力やまちづくり事業に関わる情報を地域内外に更に周知するため、目的や対象に応じた手段による効果的な広報を行う。

より多くの人に栄東地域やまちづくり事業を知ってもらうため、地域イベント・地域活動に参加したことがない層を対象に、協議会及び各地域団体が運用するウェブサイト・SNSや各事業の広報資料等の既存の広報媒体を活用した情報発信の強化に取り組む。

9 その他事業

年間を通して加入する防災訓練や防災・防犯講習会、落書き消し活動、まち美活動、夏まつり、イルミネーションイベント等の行事保険料及びその他事業の円滑な実施にあたり、予定外に必要なとなった経費等を支出する。